

議会報告会 報告書

日時	令和5年5月27日(土) 19時~20時20分	記録者	川上賢孝 議員
場所	長津公民館	参加者数	13名
出席議員	曾我部 清・原田泰樹・川上賢孝・眞鍋幹雄・吉原 敦・三浦克彦		

質疑・意見・応答記録(要点筆記)

質疑・意見・応答内容

【御要望】

人口減少、少子化対策について、学童保育に取り組んでいると思うが、定数をかなり減らされた。あふれる子供が出ないように検討してほしい。希望者はかなりいるはずであるため、職員の処遇改善を求める。

移住促進として、空き家が増えている状況で国による補助事業で空き家を改修し10年間貸し出すという制度があるらしい。本市の空き家の対策にも、このような制度を導入してほしい。

【応答①】

学童保育について、民業を圧迫しないために基礎報酬を上げにくい状況である。

人数について、調査検討している状況で一つは希望者をできるだけ入れたい、もう一つは本当に必要な人に対して行わないといけないことと、安全性の問題、先生方の確保の問題があるが、強く進めていきたいと思っている。

【応答②】

空き家対策については、道路部分に重なっているところは対応してはいるが、撤去する場合は、固定資産税が6倍に上がるのでなかなか進まない。

貸出しについても、実際提案されたら渋る方がいる。

他市から移住してきてもらえるようなものと考えていかなければならない。仕事も選り好みしなければあるという状況で来てもらえるように、市の方にも長津公民館で意見が出たことを報告させていただく。

【御意見】

福祉厚生が他市に比べて悪い。議員が地元の声を聞いて本当に動いているのか。学童保育についても聞きたい。

通常の報告なら広報見ればわかる。もう少し具体的に報告すべきである。

農業について過疎化している中で、JAに聞いたら苗が昨年より少ないと聞いている。その分生産者も減っているということであると考えますが、耕作放棄地、後継農業者についてどうなっているのか。広報不足では、活性化が遅れる。

土居地域の活性化をどのように考えているか。伊予土居駅をどうして行くか、産業道路をどうするかなど、議員としてどうやっていこうと思っているのか。

【応答①】

教育厚生委員会は、今年の政策課題として子ども食堂の普及、促進に取り組んでいる。去年は不登校支援に取り組んだ。一昨年は障害者条例を制定し、具体的に働きかけ、ヘルプマークの普及やサポーターの普及をしようとしている。

このように、教育と福祉について手厚くしていこうと動いている。

【応答②】

農業の担い手不足、耕作放棄地について、産業建設委員会の政策課題でそれらの課題を解決させるための体系的な部分を網羅した農業振興条例の制定を目指し、計画を立てて取り組んでいこうと検討会を行なっている。

【応答③】

総務市民委員会では、ごみ処理場について調査研究を進めている。

これについては、期限が決められており、三豊市のトンネルコンポストを視察したが、これを行うとした場合、4ヘクタールを令和15年までに確保しなければならないため、どういふことを行っていくのか協議している。

土居地区の要望で、道路についても生活の不安についても個々に対応している。

農業基盤をどうするのか、専業で子供を養えるかといったことも我々は話している。今は専業で農業しても食べていけないため、農業一本で生活できるようにしなければならないと考えている。

【御質問】

農業振興における取組を伺う。

【回答】

9月議会に向けて農業振興条例をつくるために取り組んでいる。

【御質問】

条例ができたなら何が変わるのか。

【回答】

条例ができたなら基本計画を定めて、年度で鳥獣対策であったり、担い手不足であったり耕作放棄地などについて定めていこうとしている。

【御質問】

委員構成はどうなっているのか。一般については、誰が入っているのか。

【回答】

J Aや農業団体の代表者である。

【御意見】

D Xの推進について、選挙をスマホなどのできる電子投票にしてほしい。また、ネットで各議員の政策などが見えるようにしてほしい。

【応答】

貴重な御意見として受け止め、今後の動向を注視しつつ反映させていただける機会をうかがっていききたい。